

福祉 櫻本のもり



上原静子さん
(幸南)



小野坂トシエさん
(下所)

百歳おめでとうございます



多肥地区社会福祉協議会 会長

上枝直樹



昨年6月から多肥地区社会福祉協議会会長を仰せつかりました上枝でございます。皆様には当協議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜っておりますこと、深く感謝申し上げます。微力ではございますが、地域の皆様のお力添えをいただきながら、大役を担ってまいりたいと存じます。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、昨年10月1日から、ひとり暮らしの高齢者など、生活支援が必要な人に対し、地域住民が訪問し家事等のサービスを行う、訪問型サービスB「たっぴー隊」による支援が開始されました。まずは、「ゴミ出しのお手伝いからスタートしておりますが、今後、利用者のお声をお聞きしながら、事業の充実を図ってまいります」と存じております。この事業が将来に亘り、多肥地区の方々にとって心の拠り所となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

この「たっぴー隊」が始まる要因となったひとつに、昨今の地域や家族のつながりの弱まりによる社会的孤立が挙げられます。その解消に向け、誰ひとり取り残さないという理念のもと、地域住民がつながり支え合い、誰もが安心して暮らせる地域を目指し、力を尽くしてまいりますと存じております。皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



多肥地区 福祉ネットワーク事業



ラジオ体操

「子どもと地域をつなぐ事業」として行っています。今年は、さくら公園、南部平成会館、櫻木神社、多肥東公園、カフェあすみの5ヶ所で夏休みに開催しました。



さくらカフェ

お茶を飲みながらお話をすることで、地域の人との出会いやつながりの場になることを願って開催しています。



少人数でも対応しますので、ご要望がありましたら、コミュニティセンターへお問い合わせください。

「ゴミ出し活動」 たっぴー隊始動!

たっぴー隊（訪問型サービスB）は、地域住民による支え合いサービスで、見守りを目的として令和7年10月1日からスタートしました!



ゴミ出しでお困りの方は、コミュニティセンターまで、ご連絡ください。

子育て支援

育児を助け合える、子育てのしやすい地域を目指して、コミュニティセンターで子育て支援活動を行っています。

● ママとベビーちゃんの音楽教室

親子がふれあいながらさまざまな音楽に触れながら楽しんでいます!



● ママのリフレッシュヨガ

身体を伸ばして気持ちよく呼吸をして、いつも頑張っているママもリフレッシュ!!



● 餅つき大会

今年は雨模様の中での開催となりましたが、たくさん親子で賑わいました。



社会福祉法人 高松市社会福祉協議会

福祉・介護に関することなんでも相談ください!



ご相談・お問い合わせ 福祉に関するご相談は 087-811-5666 介護に関するご相談は 087-806-0500



南部平成会館



真行寺



コミュニティセンター



本村引渡し所



マリア幼稚園



老人集いの家



多肥南団地集会所



中央団地集会所



下所集会所



多肥団地集会所



中部連合自治会館



若宮神社



カフェあすみ



熊野神社 社務所

敬老記念品 お渡し

令和七年、75歳以上の多肥地区在住の皆様へ、ご長寿を祈念して記念品をお渡ししました。

長寿をお祝いする取り組みとして毎年行っている敬老記念品のお渡し。開催場所を14か所に設けて七年目となります。



金婚祝品 贈呈式

令和七年、金婚式を迎えられた11組のご夫婦のみなさま、おめでとうございます。

9月6日にコミュニティセンターで贈呈式を行いました。対象者の方にご列席いただき、高松市老人クラブ連合会からは賞状と金杯を、また多肥地区社会福祉協議会からは、お菓子とお花を贈呈させていただきました。



サロン推進事業

地域で孤立しがちな高齢者、子育て中の母親などの交流の場や、仲間づくりのため、現在4ヶ所でサロン推進事業を実施しています。どなたでもご参加頂けますので、多肥コミュニティセンターまでお電話などでお問い合わせください。

着物リメイクを中心に、楽しくお話をしながら色々な作品を作っています。



さくらサロン

寄せ植え、脳トレ、ゲーム、出前講座など、色々な企画をして交流しています。



にこにこサロン

歌やゲーム、座ってできる体操をした後は、楽しいお茶の時間。おしゃべりの輪がどんどん膨らみます。



いきいきサロン

飲まない、吸わない、賭けないの健康麻雀ブームの中、多肥地区でも、令和7年度より開催が始まりました。



健康麻雀サロン

※本事業は、高松市社会福祉協議会からの助成金・赤い羽根共同募金の高齢者福祉事業、参加者会費を活用して開催しています。

龍雲中学校



校長 岩田 清

多肥地区の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。

龍雲中学校では、「心豊かで、たくましく生きる生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、地域や保護者の皆様のご協力をいただきながら教育活動を行っています。特に今年度は、「集まれ龍雲、声かけ、支え合おう」のスローガンのもと、学校全体で一体感が持てるように、温かな声かけと互いに支え合う風土づくりをめざしています。十一月には、龍雲中学校では初めて、レクザムホールで合唱コンクールを開催しました。全校生徒千余名が一堂に会する場面をつくりたいの思いから、教職員一同が計画・準備し、生徒会や実行委員会、部活動の生徒、そして保護者のボランティアの方々の協力を得て、当日の成功に結び付きました。生徒は、大ホールで歌う喜びや全校生徒が同じ瞬間に同じ体験をする感動を、身をもって感じてくれたと思います。

さて、今年度、多肥地区で開催された行事の中で、本校の生徒が参加させていただいたものは次のとおりです。
・四月「さくらまつり」には、吹奏楽部の生徒が出演して演奏を披露しました。慣れない屋外での演奏でしたが、地域の方々



に向けて精一杯の演奏ができたと思います。桜の開花が例年より遅く、満開だったことが印象に残っています。
・七月「夏まつり」には、ボランティアを志願した生徒が多数参加しました。出店の手伝いや放送などの仕事を積極的に行うことで、地域の行事に貢献でき、生徒はやりがいを感じていました。
・十月「町民文化祭」には、合唱部の生徒が出演して演奏をしました。三年生が引退し、二年生による演奏でしたが、新しい発表曲も披露でき、生徒は大変満足をしていました。
・秋「さくらカフェ」が複数回開催され、伝統文化継承部の生徒が参加し、接待を行いました。お茶を点て、出席者の方々にもふるまい、日頃の練習の成果を発揮することができました。生徒が参加できる行事には限りがありますが、皆様に喜んでいただけたのであれば幸いです。

地域の皆様には、普段から本校の生徒を温かく見守っていただき、あいさつや様々なお声がけをいただいておりますこと、非常にありがたく思っております。今後も地域行事等に積極的に参加し、地域とのつながりを深めていきたいと考えています。これまでと変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



多肥小学校



校長 大嶋和彦

日頃は、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきまして、心よりお礼申し上げます。

さて、多肥小学校では総合的な学習の時間「しあわせ学習」において、各学年が地域に根差した特色ある活動を行っております。今回は、その中でも四年生の活動を取り上げて紹介したいと思います。四年生は、高齢者とのかわりを深めることをねらいに、年間を通して「なでしこ香川」さんとの交流を進めてきました。

五月、法務省が全国の小学校などを対象に毎年実施している「人権の花運動」に本校も参加しました。人権擁護委員の方々から贈呈されたマリーゴールドやサルビアの花の苗をプランターに植え付け、大切に育てていきました。そして、六月、順調に成長した花を「なでしこ香川」さんの玄関に飾ってもらおうと、初めての訪問を行いました。現地では、施設を利用してのお年寄りの方に直接プランターを手渡しました。また、その日の法被姿を身にまとい運動会に向けて練習してきたソーラン節を披露させていただきました。これらの取り組みは、お年寄りの方々に大変喜ばれました。また、十月には、自分たちが考えたゲームに参加していただいたり、歌を聴いて



もったりするイベントも企画しました。事前に職員の方々から、どのようなゲームをしたら喜んでもらえるのか、どのような配慮を行えば楽しんでいただけるのか、ポイントになる点についてお話を聞く機会も設けました。これによって、お年寄りの方々にどのようなかわればよいかが理解でき、大きな学びとなりました。最近では、核家族化が一層進んでおり、お年寄りの方との交流も希薄になってきていると感じています。今後、加速度的に少子高齢化が進んでいく日本において、今回のような学びは大変貴重です。今後も、よりよい社会の一員をどうに育てていけばよいのかという観点に立って様々な活動を計画していきたいと考えています。

多肥幼稚園

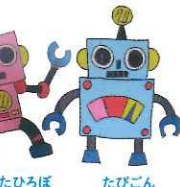


園長 建林直子

多肥地区の皆様には、平素より幼稚園教育にご理解・ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

多肥幼稚園は「ときどき わくわく やつてみよう」の合言葉のもと、いろいろなことにチャレンジすることを大切にしています。現在、全園児で37名、一人一人が安心して自分らしさを発揮し、伸び伸びと生活できるような環境を整え、全職員で子どもたちを支えていくと毎日子どもたちと一緒に保育者も楽しんでいきます。また、今年度からPTAをたびたび応援団という名前に変更し、できる人ができる時に！保護者一人一人が子どもたちを応援したい！という思いをもち、やるからには楽しんでできるように進めています。

多肥幼稚園の東側には広い畑があります。畑の名前は「こどものうえん」春にはタマネギ、ジャガイモ、夏には、トマトやピーマン、ナスなどの夏野菜、秋にはサツマイモ、冬はダイコンやカブ。毎年、子どもたちと相談しながら植えるものを選び、栽培し、収穫後は楽しんでクッキング



「たひろぼ」「たびこん」



グをしています。このような経験を継続して行うために畑の整備は必須です。職員で何とかしなくては！と草抜きや水やりなど頑張っていました。今年度の猛暑、草もあっという間に伸び、雨も降らない。「もう今年でやめようと思う」と、役員会で話したところ、「こどものうえん」での活動を通して、食育だけでなく、子どもたちの気づきや発見、いろいろな感情も経験できるこの環境は多肥幼稚園の強み！子どもたちの健康な成長のためにぜひ続けてほしいという保護者の思いを聞きました。季節ごとにトラクターで耕してくれる地域の方、栽培物を植える際の指導、いつも温かく園児に接していただける百寿会の方々、「草刈り手伝いますよ」と心強いたびたび応援団の方々。また、今年度は多肥小学校の6年生がボランティア活動で草抜きを手伝ってくれました。たくさんの方に支えていただきながら多肥幼稚園の園児が伸び伸びと成長していることを再確認しました。保護者や地域の方々の力を借りながら地域に根差した公立幼稚園として頑張ります！



多肥保育所



所長 日下芳江

多肥地区の皆様方には、日頃より保育所運営に格別のご理解とご厚情を賜り心から感謝申し上げます。

保育所では、遊びや生活、様々な体験を通して子ども一人一人が安心して自分らしさを発揮し、心身共に成長することを大切にしていきます。今年度は、地域の方々と泥んこ遊び、田植え、稲刈り、さつま芋の吊るさし、芋掘り、平和の集いなど、自然や地域と深く関わる体験活動を行うことができました。土や水に触れ、季節の移り変わりを感じながら活動する中で、子ども達は意欲的に取り組み、様々な学びを得ることができました。

中でも、さつま芋掘りは、子ども達にとって心に残る経験となりました。当日は、百寿会の皆様に優しく声をかけてもらいながら、芋の掘り方を教わり、力を合わせて土を掘り進めました。大きな芋が姿を現すと、「見て見て」「こんなに大きいよ」と、子ども達のうれしそうな歓声と笑顔が畑いっぱい広がりました。芋掘りを通して、作物を育てる楽しさや収穫の喜びを味わうと共に、世代の異なる方々と関わる温かさを感じることができました。百寿会の皆様には手を添えてもらったり、

地域の方に認めてもらい、励まされる経験は、子ども達の安心感や自信へとつながっています。このような貴重な体験ができたのも、百寿会の皆様をはじめ、日頃より保育所を温かく見守り、支えてくださっている地域の皆様のご理解とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。今後、子ども達が地域の中で多くの方と関わりながら、健やかに成長していけるよう、職員一同、保育の充実に努めてまいります。引き続き、地域の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



令和7年度多肥地区社会福祉協議会役員

Table listing the board members of the 2025 Shikano District Social Welfare Association. It includes roles such as 顧問 (Advisor), 会長 (President), 副会長 (Vice President), 理事 (Board Members), 監事 (Supervisors), 事務局 (Secretariat), and 会計 (Accountant), along with their names and affiliations.

多肥地区 民生委員・児童委員名簿

Text explaining the role of the welfare and child welfare committees, their responsibilities, and how to contact them for assistance.

Table listing the names of welfare and child welfare committee members across 20 districts. The table is organized into columns for district names, member names, and their respective districts.

私たちが町の民生委員・児童委員を紹介します
今期、多肥地区の民生委員・児童委員に選ばれたみなさまです。(※地図の中の番号は担当地区エリアです。)

A map of the Shikano District showing 20 numbered areas. Each area is associated with a portrait of a committee member. A separate box highlights the 主任児童委員 (Chief Child Welfare Committee Member) 久保 諭世 and 平尾 ラミイ.

*詳細については、多肥コミュニティセンター 087-889-4956 までお問合せください。

友愛訪問 (Friendly Visits) section. It features photos of volunteers visiting elderly residents and text describing the importance of such visits for the elderly and how to get involved.

多肥地区民生委員 児童委員協議会 会長 平尾ラミイ (President of the Shikano District Welfare and Child Welfare Association, Ramihei Rami). This section includes a message from the president regarding the role of the committees and the importance of community support.